

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	横 澤 一 彦	所 属	筑波学院大学 経営情報学部
研究会等名称	「注意と認知」研究会		
成 果 概 要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 30名 (うち認定心理士 2名) 非会員 12名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p><集会の目的> 注意と認知に関わる研究者の研究発表 (口頭発表) と討論を行った。参加人数は42人、発表は25件であり、発表テーマは、感覚間協応と共感覚、視覚と行為の相互作用、魅力・情動・美感、オブジェクト認知と情景理解、注意や記憶の特性、知覚と認知一般であった。北海道大学の吉田正俊先生による「サリエンシーマップの注意研究への応用」と題する特別講演もあった。 日 時： 2023年3月5日 (日) ~7日 (火) 場 所： サイプレスホテル 名古屋駅前</p> <p><成果> 議論を通して研究者同士の親睦を深めること、特に若手研究者に口頭発表の場を提供することに大きな意味があった。研究発表資料は以下の URL からダウンロード可能であり、全ての研究会参加者が参考にすることができた。</p> <p>発表資料 URL : http://www.l.u-tokyo.ac.jp/AandC/documents/2023/AandC_2023_all.pdf</p> <p><将来計画> 研究会中に運営委員会が開催され、年に1回このような研究会の開催を継続することが確認された。</p>		

(様式5)

2023年 3月 31日

日本心理学会研究会 2022年度会計報告書

研究会名称 「注意と認知」研究会

研究会番号

助成金額 ￥30,000

年月日	項目	金額
2023年3月5日	特別講演謝金 (吉田正俊先生)	￥30,000

支出合計 ￥30,000

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
「注意と認知」研究会 第21回合宿研究会				
研究集会開催日：2023年3月5日(日)～2023年3月7日(火)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	伊丸岡俊秀	金沢工業大学情報フロンティア学部	○	
2	宇野究人	立教大学現代心理学部	○	
3	永井聖剛	立命館大学総合心理学部	○	
4	奥村安寿子	東京大学大学院総合文化研究科	○	
5	横澤一彦	筑波学院大学経営情報学部	○	○
6	河原純一郎	北海道大学文学部	○	○
7	花島諒	産業技術総合研究所/筑波大学大学院	○	
8	熊田孝恒	京都大学	○	
9	原島小也可	東京大学文学部心理学研究室	○	
10	光松秀倫	名古屋大学情報学研究科		
11	光武里菜	青山学院大学社会情報学研究科		
12	坂田千文	京都大学文学研究科	○	
13	小川愛子	京都大学文学研究科心理学専修		
14	小田切史士	東京大学総合教育科学専攻	○	
15	小林穂波	関西学院大学大学院文学研究科	○	
16	松本絵理子	神戸大学	○	
17	松本純奈	安田女子大学心理学部		
18	上田祥行	京都大学人と社会の未来研究院	○	
19	新美亮輔	新潟大学人文学部	○	
20	水野純平	京都大学人間環境学研究科		
21	西村聡生	安田女子大学心理学部	○	
22	石松一真	滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科	○	
23	前澤知輝	NHK	○	
24	増田奈央子	大阪大学大学院人間科学研究科	○	
25	蔵富恵	岐阜聖徳学園大学教育学部	○	
26	村井祐基	情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター	○	
27	大久保らな	東京大学人文社会系研究科	○	

	氏名	所属	会員	認定 心理士
28	中川令実	関西学院大学文学研究科		
29	中島優	京都大学文学研究科		
30	中島亮一	京都大学大学院情報学研究科	○	
31	伝保昭彦	成蹊大学理工学部	○	
32	馬詩怡	神戸大学国際文化学研究科		
33	武田裕司	産業技術総合研究所	○	
34	武藤拓之	京都大学人と社会の未来研究院	○	
35	牧島海渡	立教大学現代心理学部		
36	鳴川紗	生理学研究所 心理生理学研究部門		
37	劉文娟	大阪大学人間科学研究科	○	
38	鈴木陽介	立教大学現代心理学部研究科		
39	鈴木悠介	立命館大学人間科学研究科	○	
40	澤井建人	筑波大学大学院	○	
41	澤田玲子	京都大学	○	
42	吉田正俊	北海道大学		